

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	柏みらいこども学園		
○保護者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年1月20日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人保育園との連携により、お子さんが安心して過ごせる一貫した支援体制	<ul style="list-style-type: none"> 日々保育で向き合っている保育園の先生方と情報共有や意見交換を通して、よりお子さんが安心して集団生活を送れるよう支援しています。 法人内で事業所の役割を認識できているため、適宜担当者会議を実施し、ご相談に応じています。 	園との連携を活かした活動の幅を広げ、子どもが自信を持って集団生活に参加できる機会を増やしていきます。
2	お子さんに合わせた遊びや活動の充実化、活動プログラムの工夫	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの興味や得意を丁寧に観察し、個々に合わせた遊びや活動を取り入れています。 活動プログラムが固定化しないよう、季節や発達段階に応じて内容を見直し、毎回の支援に工夫を加えています。 お子さんの「できた」「やってみたい」を大切に、成功体験につながる活動設定を意識しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動のねらいや効果を職員間で共有し、支援の質を高めるための振り返りを継続していきます。 お子さん自身が選択できる活動の幅を広げ、自主性や意欲を育む機会を増やしていきます。
3	安心して通える環境・空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> 見通しの良いレイアウトやバリアフリーの環境を整え、お子さんが安心して移動・活動できる空間づくりを行っています。 お子さんの活動に合わせて空間を柔軟に区切り、集中しやすい・安心しやすい環境を整えています。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの特性に応じた環境調整（視覚の手がかり、構造化など）をさらに検討し、より分かりやすい空間づくりを進めていきます。 保護者の方からの意見や園との情報共有を踏まえ、環境改善のアイデアを取り入れながら継続的に見直していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや保護者交流の機会が保護者に伝わりにくい状況があるため、今後は機会の創出と周知方法の改善に取り組んでいく	保護者同士が交流できる機会や、家族支援プログラムの実施がまだ十分に整っておらず、保護者の方が参加できる場が確保されていない状況がありました。	保護者同士がつながれる場や、家族支援プログラムの企画・実施を進めるとともに、参加しやすい時間帯や形式を検討しながら、周知方法の改善にも取り組んでいきます。
2	保護者の方と日々の様子を共有するタイミングが、生活リズムや送迎状況によって確保しづらい場合があるため、今後は無理なく情報を受け取れる方法の工夫に取り組んでいく	使用している連絡帳ソフトが事業所からの発信に特化しており、保護者の方と双方向でやり取りできる機能がないため、送迎時間や生活リズムによってはコミュニケーションの量に差が生じやすい状況がありました。	連絡帳ソフトの特性を補うため、保護者の方が返信しやすい別の連絡手段の活用や、短時間でも伝わる情報共有の工夫を進めていきます。あわせて、面談や相談の機会を柔軟に設定し、日々の様子を共有しやすい環境づくりに取り組んでいきます。
3	非常時対応やマニュアル類の周知が保護者の方に十分伝わっていない場面があるため、今後は説明の方法やタイミングを見直し、より分かりやすく安心していただける情報提供に取り組んでいく	マニュアルや訓練の実施状況を保護者の方へ伝える方法が限定的で、日々の中で自然に情報に触れられる機会が少ないため、内容が把握しづらい状況があります。	保護者の方が必要な情報に触れやすくなるよう、日常的に確認しやすい発信方法や伝え方を検討し、非常時対応や訓練内容のポイントを分かりやすく共有できる仕組みづくりを進めていきます。